

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		地域による介護予防活動への支援				所管	福祉部 介護予防・地域支援課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	175	計画事業名	介護予防の推進		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり					[事業開始] 平成13年度			
		[小 柱] (4)高齢者の地域での包括的な支援の仕組みづくり					[終了予定] - 年度			
		[施 策] ②介護予防・生活支援サービスの充実								
	根拠法令等	法令(義務)		[法令等名]	介護保険法					
	事業対象	直接の対象 : 高齢者及び介護予防に興味関心のある区民 最終的な対象 : 高齢者								
	事業目的	ころばぬ先の健康体操サポーターの養成及び身近な場所に住民主体の通いの場を創出・充実させることで、住民主体の介護予防の取組みを広げるための地域づくりを行う。								
事業内容 [29年度]	1. ころばぬ先の健康体操サポーター養成 ・ころばぬ先の健康体操を広めるためのサポーター養成 ・サポーター活動内容: 区主催の体操教室への協力、自主活動 2. 住民主体の通いの場づくり ・高齢者の身近な地域で自主的に活動できる場の創出や促進を行い、“住民主体の通いの場”立ち上げを支援する。 ※通いの場づくりはH29年度から実施									
委託の有無	一部委託		委託内容	ころばぬ先の健康体操サポーターユニフォーム作成						
補助金の有無	国・都									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率		
	活動指標	ころばぬ先の健康体操サポーター登録者数		人	56	37	51	48	48	100.0%
	成果指標	ころばぬ先の健康体操サポーターによる指導人数		人	9,968	8,305	7,336	8,513	6,500	131.0%
	決算額 (単位: 千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位: 千円)	人にかかるコスト (人件費など)				245		281		1,348
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				18,205		7,758		11,564
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				671		803		811
		総経費				90		76		537
	財源項目 (単位: 千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				0		0		0
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				666		769		1,180
一般財源 (区負担額)				18,300		7,868		11,732		
前回評価から29年度に改善した事項	高齢者が主体となる介護予防活動を広げていくため、住民主体の通いの場づくりの取組みを実施した結果、平成29年度は新たに5グループが立ち上がり、計7グループが活動している。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	将来の後期高齢者の増加に伴い介護予防の推進が急務となっている中、高齢者が生きがいや役割を持って生活できるような地域づくりのために、高齢者自身が主体的な活動を行える仕組みをつくり広げていくことが必要である。							
	効率性	3	事業実施にあたり、他事業や関係機関との連携を図りながら、住民主体の介護予防活動につなげるための仕組みを広く地域に展開しており、効率的である。							
	手段の適切性	4	介護予防活動につながる地域の社会資源の把握や掘り起しを目的に他事業や地域包括支援センター等と連携して取組みを進めている。また、区民と共に取組むことで地域における互助の力を伸ばしており、適切な手段で実施できている。							
目的達成度	4	体操サポーターの活動実績は増加しており、地域での介護予防活動につながっている。通いの場づくりについては、区内の全地域を対象に取組みを実施したことにより新たに5グループが活動開始した。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
健康体操サポーターの活動実績が増加し、主体的な介護予防活動につながる仕組みづくりにつながっている。生活支援コーディネーターや地域包括支援センター等との連携を図ることで地域の社会資源の発掘や通いの場づくりにつながるような情報共有等を行い、より効果的な事業展開を行っていく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		